

令和2年度 事業報告

年度当初は、東京オリンピックの開催に伴う事前合宿など柏崎地域の多文化共生や国際化に関しても実りある一年となる見込みでしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、東京オリンピックが延期、緊急事態宣言の発令、柏崎市市民プラザの利用が制限されるなどの影響により、4月からの一部事業を中止せざるを得ませんでした。多言語情報の発信や生活相談、通訳依頼などに対応することに加え、9月以降は、安全に配慮し、参加人数を制限する、換気のできる部屋で開催するなどの対応をしたうえで、少しずつ講座を再開しました。

公益目的 地域国際化事業

Ⅰ 国際化に関する事業

・ 国際協力貢献

主に、通訳翻訳事業を実施しました。個人からの依頼は、出身国大使館に提出するための戸籍謄本など日本語の書類から英語への翻訳、またはその逆などです。団体からは、生活相談対応時の通訳、セルビアとの水球絵画交流に関する翻訳、オリンピックホストタウン事業に関する連絡の翻訳、市役所新庁舎の部局名英語表記校正や災害時避難所看板の英語表記翻訳など、多岐にわたり依頼があり、これらに協力しました。ことばや文化のちがいによる齟齬が生じないような取り組みをしました。

・ 語学文化講座

当初の計画では、春期 10 回、秋期 12 回、冬期 8 回を実施する予定でしたが、市民プラザが臨時休館となり使用できず、春期を中止にしました。9月からの秋期講座は、安全に配慮し、受講生間の距離が取れ、換気のできる部屋を使用し、講座時間を 90 分から 1 時間に、9月から 11月に各月 2 回計 6 回の開催とすることとしました。結果、英語を 4 クラス、受講生は 31 名でした。1月からの冬期講座は、毎週開催、90 分の講座を各 8 回、英語 3 クラス、韓国語、中国語を各 1 クラスずつ実施し、受講生は 40 名でした。講師については、年齢性別によらず真に教授能力があり、外国出身の方々に依頼しております。「初めて受講する」という方もおられ、男女問わず、幅広い年齢層の方からご参加いただくことができました。言語を通して、講師の国の文化も学びました。

・ 多文化理解

・国際理解セミナー・アジアを知る!「もっと知りたい韓国文化!」

(公財)新潟県国際交流協会の委託により 10 月 17 日に、新潟工科大学李虎奎准教授を講師に実施しました。韓国の文化をご紹介いただくとともに、「ぜひ自分自身の地域の文化に関心を寄せ、住みよい街にするにはどうしたらよいか考えてみてほしい」という内容でした。当日は市内外から 25 名の方にお越しいただき、活発な質疑もあり、多文化理解が進む充実した講座となりました。



・多文化理解講座「北朝鮮を取り巻く情勢と拉致問題解決への道」

11月19日に、北朝鮮による拉致被害者でもある新潟産業大学蓮池薫准教授に講演いただきました。コロナ禍ということもあり、参加人数を制限し、安全を確保したうえで、会員や関係者を中心とした講演会として実施しました。今の北朝鮮を取り巻く情勢や、拉致されてから帰国するまでの様子、心情などを詳細にお話しいただきました。参加者からは、「まだ帰国が実現していない拉致被害者とそのご家族のお苦しみを思い、あらためて帰国の早期実現を願うばかりだ。」「改めて拉致という解決していない問題を放置してはならないと感じた。」というご感想をいただきました。



・多文化理解講座「バレンタインスイーツ」

料理を通して外国文化に触れる講座として、1月30日にニュージーランド出身の講師から、現地中学校の料理実習で作るチョコレートを使ったお菓子作りを紹介いただきました。安全のため、人数を制限し13名の参加で、その場で作ったものを持ち帰るといった内容にしました。小学生から大人まで幅広い年代の方にご参加いただき、ニュージーランドの英語の言い回し、バレンタインの習慣などの話も聞きました。

II 情報収集提供事業

・多言語情報運営

ホームページやフェイスブックを通して情報を発信しました。新型コロナ関連では、政府機関、多文化共生に関わる団体（（一財）自治体国際化協会など）の多言語情報を発信しました。また、これらの情報に、柏崎の情報や解説をやさしい日本語で加えるなど、実際に読む方に伝わるよう工夫しました。7月16日の防災訓練として、広報かしわざきに合わせて、地震の際自分を守るための行動を8言語で発信しました。情報が得られないことによる住民の不安などを解消すべく発信に努めています。

・広報啓発

会員募集のご案内を4月に配布しました。団体28団体、個人は69名のご加入をいただきました。3月には、協会ニュースを発行し、市内町内会回覧として配布しました。更なる会員の加入につながるよう、事業の報告にとどまらず、多文化共生や外国人住民との交流に興味を持てるような内容としました。

III 活動協力育成事業

・人材育成

6月に開催予定であった「柏崎市水害対応総合防災訓練」が新型コロナの影響で中止になったので、多言語支援センター設置訓練も中止しました。例年、新潟市など他市で開催される日本語支援者のための講座など各種研修がオンラインで開催されることが多く、それらに職員や日本語支援者が参加し、研鑽に励みました。また、（公財）新潟県国際交流協会主催の災害時外国人サポーター養成講座に職員全員が参加しました。

・ 民間協力

当協会窓口で収集しているものを、7月にそれぞれの団体へ送りました。

◆ ステナイ生活協力 送付先:特定非営利活動法人シャプラニール

未使用切手・はがき、使用済切手、使用済プリントナー、テレホンカードなどを送り、総額 32,734 円の寄付となったとご報告をいただきました。バングラディッシュなど南アジアの人びとの生活向上を目指した活動に活かされています。



◆ 外国コイン募金 送付先:公益財団法人日本ユニセフ協会

外国コインは、世界の子どもの命と健康を守るための活動に使われており、寄付のお礼状をいただきました。



IV 地域協働支援事業

・ 生活相談

182 件の相談が寄せられました。外国人住民からの相談内容は新型コロナに係る助成金に関することから滞在ビザに関する事、日常の困りごと(バスの乗り方、ごみの出し方)などまで多岐にわたりました。これらを含む個別の相談に関しては、人権保護に直結する事柄もあり、注意深く対応しました。また、柏崎市内の団体から外国人対応についてのアドバイスがほしいなど相談を受けることも増えてきました。

・ 日本語支援

4 月からの日本語教室については、中止としましたが、7 月に入り、講師のフェイスシールド装着、換気ができる広い教室を使用し、講師、受講者ともに体温測定と手指消毒を義務付けるなど十分な対策を講じた上で、2 回開催しました。受講生からは、再開を喜ぶ声が聞かれました。9 月からの講座は昼と夜、30 分短縮しそれぞれ 1 時間の講座として実施しました。冬期間は悪天候を考慮し、昼の講座のみ開講しました。受講生は、日本人配偶者や社会人などの 12 名が在籍しました。

柏崎市教育委員会からの支援要請に基づき、日本語指導ができる言語文化サポーターの紹介をしました。継続分も含め、7 校(小学校 5、中学校 2)8 名の外国にルーツを持つ児童生徒に対し、日本語支援者として 3 名が対応しました。

貸借対照表
令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	7,537,776	7,550,888	△ 13,112
前払費用	9,000	0	9,000
流動資産合計	7,546,776	7,550,888	△ 4,112
2 固定資産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
その他の財産			
地域国際化事業積立預金	0	400,000	△ 400,000
多文化共生事業積立金預金	500,000	0	500,000
退職給与引当預金	480,005	420,005	60,000
特定資産計	980,005	820,005	160,000
その他			
敷金	18,000	0	18,000
その他の固定資産計	18,000	0	18,000
固定資産合計	100,998,005	100,820,005	178,000
資産合計	108,544,781	108,370,893	173,888
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	153,152	125,670	27,482
前受金	0	11,000	△ 11,000
流動負債合計	153,152	136,670	16,482
2 固定負債			
退職給与引当金	480,005	420,005	60,000
固定負債合計	480,005	420,005	60,000
負債合計	633,157	556,675	76,482
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産	7,911,624	7,814,218	97,406
(うち当期正味財産増減額)	97,406	520,931	△ 423,525
正味財産合計	107,911,624	107,814,218	97,406
負債及び正味財産合計	108,544,781	108,370,893	173,888

公益財団法人柏崎地域国際化協会

貸借対照表内訳表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人管理	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	2,271,901	5,265,875	7,537,776
前払費用	0	9,000	9,000
流動資産合計	2,271,901	5,274,875	7,546,776
2 固定資産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	0	100,000,000
基本財産計	100,000,000	0	100,000,000
その他の財産			
地域国際化事業積立預金	0	0	0
多文化共生事業積立預金	500,000	0	500,000
退職給与引当預金	0	480,005	480,005
特定資産計	500,000	480,005	980,005
その他			
敷金	0	18,000	18,000
その他の固定資産計	0	18,000	18,000
固定資産合計	100,500,000	498,005	100,998,005
資産合計	102,771,901	5,772,880	108,544,781
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	13,060	140,092	153,152
流動負債合計	13,060	140,092	153,152
2 固定負債			
退職給与引当金	0	480,005	480,005
固定負債合計	0	480,005	480,005
負債合計	13,060	620,097	633,157
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産合計	100,000,000	0	100,000,000
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	0	100,000,000
2 一般正味財産			
正味財産合計	2,758,841	5,152,783	7,911,624
負債及び正味財産合計	102,758,841	5,152,783	107,911,624
負債及び正味財産合計	102,771,901	5,772,880	108,544,781

正味財産増減計算書
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異(当-前)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	522,000	522,000	0
その他の財産運用益			
その他の財産受取利息	6	4	2
受取会費			
賛助会員会費	421,000	458,000	△ 37,000
事業収益			
国際化事業収益	540,533	1,684,893	△ 1,144,360
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	5,750,000	6,250,000	△ 500,000
受取寄付金			
受取寄付金	0	35,000	△ 35,000
雑収益			
受取利息	412	296	116
雑収益	200	0	200
経常収益計	7,234,151	8,950,193	△ 1,716,042
(2) 経常費用			
給与	4,128,000	4,128,000	0
臨時雇賃金	985,390	935,900	49,490
法定福利費	644,107	643,744	363
福利厚生費	24,873	25,080	△ 207
退職給付引当金繰入額	60,000	60,000	0
会議費	25,961	93,840	△ 67,879
旅費交通費	40,010	117,710	△ 77,700
通信運搬費	146,130	170,692	△ 24,562
消耗品費	138,551	181,239	△ 42,688
印刷製本費	102,798	312,697	△ 209,899
賃借料	75,745	120,443	△ 44,698
諸謝金	698,080	1,850,105	△ 1,152,025
支払負担金	20,000	70,000	△ 50,000
雑費	47,100	69,812	△ 22,712
経常費用計	7,136,745	8,779,262	△ 1,642,517
当期経常増減額	97,406	170,931	△ 73,525
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度修正益	0	350,000	△ 350,000
経常外収益計	0	350,000	△ 350,000
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	97,406	520,931	△ 423,525
一般正味財産期首残高	7,814,218	7,293,287	520,931
一般正味財産期末残高	7,911,624	7,814,218	97,406
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	5,750,000	6,250,000	△ 500,000
一般正味財産への振替額	5,750,000	6,250,000	△ 500,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	107,911,624	107,814,218	97,406

財 産 目 録
令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産				
	預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	4,707,127
		定期預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	2,830,649
	前払費用	遠藤 聡子	4月分駐車場料金として	9,000
流動資産合計				7,546,776
固定資産				
基本財産	有価証券	139回共同発行市場 公募地方債 みずほ証券	公益目的保有財産であり、運用益を国際化協会の事業及び管理目的の財源として使用している。	50,000,000
		149回共同発行市場 公募地方債 野村証券		50,000,000
その他の財産	多文化共生事業積立預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	多文化共生事業実施のための積立金	500,000
	退職給与引当預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	退職金支給に向けての積立金	480,005
その他	敷金	遠藤 聡子	駐車場を借りるための敷金 期間：令和3年4月1日から令和5年3月31日まで	18,000
固定資産合計				100,998,005
資産合計				108,544,781
流動負債				
	預り金	職員、講座講師から預かっているもの	源泉所得税、市県民税、社会保険料等未払のもの	153,152
流動負債合計				153,152
固定負債				
	退職給与引当金		退職金支給のための引当金	480,005
固定負債合計				480,005
負債合計				633,157
正味財産				107,911,624

